

## ”こころ”のふれあうフェスタ2023 作品展

この作品展は、障がい者の自立及び社会参加についての県民の関心と理解を深めることを目的としたもので、今年度で 10 回目の開催となりました。令和元年より当支援センターが宮崎県と共に主催して行っています。この作品展が、その人の表現を通して社会参加を促すとともに、その先の人生の豊かさや地域での生きやすさにつながるきっかけの場、交流の場となるように目指しています。



◎2年前に訪問した重度障がい福祉施設からの出展や、はじめての個人や事業所からの応募があった。

◎事業所訪問やワークショップから出展へつながった。

◎アートなかまや高校生ボランティアが、作品展会場受付や会場サポートを行った。

### 作品展関連イベント 「突撃!みんなでギャラリートーク!!」セミナー

**25 宮崎県立美術館**  
R5.11/18、11/19  
参加者：22人+来場者  
障がいのある人 14人  
支援員・家族 8人



◎出展アーティストと支援センタースタッフが会場のお客様を巻き込みクロストークを展開した。

◎出展アーティストが、自身の作品について話したり、質問に答えるギャラリートークとなった。



◎放課後等デイサービスを利用している子どもたちが、アーティストへたくさん質問した。

◎トークの飛び入り参加者も、”こころ”にふれた作品を紹介した。



受付をサポートしてくれたなかま

## アートなかま!!

アートなかまとは、宮崎県障がい者芸術文化支援センターと、いっしょに芸術文化活動をサポートしていく「なかま」のことです。アートに興味がある人、好きな人、力仕事でサポートできる人、SNSやチラシで広報できる人が「なかま」として活動しています。

人材育成・ネットワーク・情報発信

「アートなかま」募集中!



「アートなかま」LINE 公式

令和2年から「障がい者の作品鑑賞について考える会」を立ち上げ、「視覚障がいと鑑賞について」の事業に取り組み始めました。協力委員は、全盲の当事者、障がい者関係団体から宮崎県立視覚障害者センター職員、学識経験者として宮崎県立美術館と高鍋町美術館の学芸員、教育の分野から特別支援学校の教員、3Dプリンターの取り組みをしている Fablab みやざきβの代表で、遂に今年度「対話型アート鑑賞ガイド」が完成しました!

### 関係者のネットワークづくり



委員との話し合い (①R5.9/26 ②R6.3/8)

このガイドは、「作品を通して会話を楽しむこと」を1番の目標とし、コミュニケーションを通じた鑑賞の手法の1つを提案しています。

今後、このガイドを県内公共施設等に配布し、鑑賞会を普及していきます。

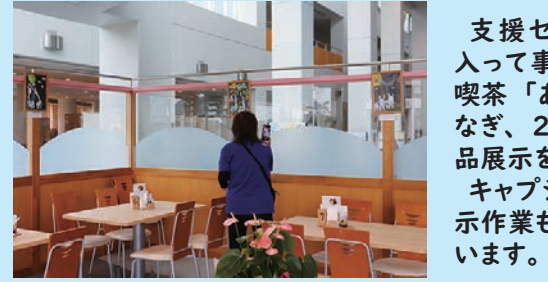


毎回ブラッシュアップして完成したガイド

## まちなかアートイ

支援センターから外に出て、宮崎のまちなかで芸術文化活動を普及します。宮崎県の多くの人に、この活動を知っていただくため、美術館やギャラリー以外での作品展示の機会創出、障がい者芸術の情報提供などを行い、障がいのある人ない人が共に触れあう場を作ることを目的としています。

### アートトレーラーが連れて来たぞ!! まちなかアート化@あいあい 作品展



支援センターが間に入って事業所や個人と喫茶「あいあい」をつなぎ、2か月単位で作品展示を行います。キャプション作成や展示作業もアドバイスしています。



**31 ふれあい喫茶あいあい**  
参加者 / グループ R5.4月～R6.3月  
★ KOZUMI  
★ こころのふれあうフェスタなかまたち  
★ デイセンターひなた  
★ アートステーションどんこや  
★ オープン! アトリエのなかまたち  
★ こどもプラス宮崎・青島教室



### アートトレーラーが連れて来たぞ!! まちなかアート化@西都市民会館 からだと心が動き出す!多感覚セッションワークショップ

**11 西都市民会館**  
R5.8/21  
参加者：16人  
障がいのある人 4人  
障がいのない人 12人  
講師：長友 紀理子氏 (音楽療法士)

音や音楽を使った感覚遊びや、身体表現、作品制作などを通して、アートによる自己表現の広がりや他者とのつながりを体験しました。



◎障がいのある人だけでなく「20年ぶりに絵の具を触った」と楽しそうに話される人や興味のある福祉事業所の職員が参加。参加者全員が作品の一部を切り取り持って帰った。

### 古民家の森で音遊びワークショップ

**26 宮崎県総合博物館 (民家園)**  
R6.3/9  
参加者：23人  
障がいのある人 7人  
障がいのない人 16人  
講師：Co-Music therapy 療法士会 MIYAZAKI



博物館の屋外にある「民家園」(椎葉の民家、米良の民家、旧黒木家)の敷地での作品展示とワークショップを行いました。障がいのあるアーティストは、自宅や事業所などで創作活動をしていることが多く、その人その人たちの日常の延長に表現として出てきたものを、古民家に展示し、その空間で、誰もが作品にふれあう場をつくることを目的としました。



絵画や書、立体等作品を、それぞれの民家の特長を活かして展示を行った。



今年度は就労系の事業所を訪問していたことで、作品展出展につながり、木工製品(お弁当箱、パン皿)も展示した。



将棋やトランプなどのボードゲームもゴザの上に準備し、アート作品の中で遊べる空間をつくった。



## またまた、おじゃましますっ。 宮崎県障がい者芸術文化支援センターです! 2023



令和5年度 宮崎県障がい者芸術文化活動普及支援事業 報告書

またまた、おじゃましますっ。宮崎県障がい者芸術文化支援センターです! 2023

発行日 2024年3月  
企画・制作・発行 宮崎県障がい者芸術文化支援センター  
岩切 明日香  
〒880-0825 宮崎県宮崎市東大宮4丁目23-1 (アートステーションどんこや内)  
TEL 0985-27-2823 FAX 0985-89-6000 URL https://donkoya.mio.jp/artistic-culture\_center/  
E-mail donkoya@jlmoo.jp donkoyart2019miyazaki@gmail.com

表紙文字：栗ちゃん  
令和5年度厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業(令和5年度宮崎県障がい者芸術文化活動普及支援事業)の一環として制作しました。



ネットワークづくり・人材育成・鑑賞支援・交流

# ちょっと、おじゃましますっ！事業所訪問2023

国文祭・芸文祭みやぎ2020が終了し、2022年2月に障がい福祉サービス事業所へ向けて、芸術文化活動に関するアンケート調査を行いました。そのアンケートの結果を受けて、昨年度は主に生活介護、今年度は主に就労系（就労継続支援A型・B型、就労移行支援など）の事業所を訪問し、実態調査と課題を把握し今後の支援につなげています。

## 1 社会福祉法人 愛育福祉会 のぞみ園（延岡市）

就労継続支援 B 型、生活介護、日中一時支援



★訪問メモ  
B型では委託作業の粘土製作、園内委託作業、清掃作業や施設外就労、生活介護ではおしぼり、にんじん、リサイクル作業、創作活動を行っている。月に一度事業所全体でカルチャークラウド（音楽、スポーツ、レクリエーション、筆道、絵画）を開催し、利用者はそれを毎月楽しみに取り組んでいる。

## 2 社会福祉法人 高和会 はまゆう園多機能型恒富事業所（延岡市）

就労移行支援、就労継続支援 B 型、就労定着支援



★訪問メモ  
18～80歳の利用者がおり、農園芸作業、クッキーづくり、清掃、漬はりかき作業、箱作りなどを行っている。やりがいをもって、それぞれの仕事をされており、その得意なことや仕事をされている。年1回の楽しみ活動があり、去年はみんなで京都旅行に出かけた。

## 3 社会福祉法人 高和会 はまゆう園生活介護恒富事業所（延岡市）

生活介護、短期入所、日中一時支援



★訪問メモ  
「何をやる？」と利用者それぞれに尋ねて、活動の参加やサポートを行う。訪問した時は、紙通きのポチ袋づくり、貼り絵をしている人がとても多く、他には音楽活動（歌を歌って体操ダンス）をされていた。その人の好きなこと、得意なことを創作の時間にあてていた。また、地域の七夕祭りに毎年参加している。

## 7 特定非営利活動法人 日向市をつなぐ育成会 スマイルホーム 360（東郷町）

就労継続支援 B 型、生活介護、日中一時支援



★訪問メモ  
旧福原小学校の廃校を利用した事業所で、地域コミュニティ事業としてカフェ「じやんけんぽん」や、相談支援事業所なども設置している。移動トラックでも活動を進めようとしている。地域の高齢者と交流を深めている。さをり織の商品、タペストリー、クッションカバー、バッグ、クヌシキップなどを、併設のカフェやバザーで販売している。

## 8 社会福祉法人 中心の里 障がい福祉サービス事業所中心の里作業所（美々津）

就労継続支援 B 型



★訪問メモ  
昭和58年に利用者2名からスタートした。工賃アップの流れで、授産施設の設けと出た、ゆつたりと芸術文化に取り組みることが賢くなった。そこで、雨の日で作業ができないと、チラシの裏に絵を描いたり、歌を取って遊んでいる。農業はいろんな障がいのある人が取り組みやすく、その人の特性に合わせることができている。

## 12 特定非営利活動法人 えびの福祉作業所（えびの市）

就労継続支援 B 型



★訪問メモ  
県や市が主催する文化祭、福祉大会、敬老会などに太鼓の演奏として事業所で参加している。陶器や手芸、農業、空き缶作業などそれぞれに仕事の後、利用者、職員全員が団体に集合して太鼓の練習をする。リズムはそれぞれ違うが、その人らしく、その人に合わせて、自分の表現を出せる機会となっている。

## 19 特定非営利活動法人みやぎ自立支援センター シーズーウェルフェア（都城市）

就労継続支援 A 型



★訪問メモ  
クリーニング作業の中で、一人ひとりの特性に合った作業、長所を生かせる作業を行っている。やりがいには、挑戦するように研修を行い、仕事に人当てはしていくのではなく、その人に仕事を合わせている。芸術文化に取り組みことはないが、個人でアクセサリー販売をネットで行っている人がある。芸術文化活動としての位置づけは難しいが、余暇支援や居々への情報提供を行えるよう。

## 20 社会福祉法人スマイリング・パーク モジラ・テラス（都城市）

就労移行・就労継続支援 B 型・就労定着支援・生活訓練



★訪問メモ  
学校を卒業して、社会に出て働くため、日常生活を不安なく送れるような訓練を行っている。壁が黒板になっており、利用者も職員も文字情報で活動内容を共有している。創作活動は、協同、個別それぞれに、その人の強みを引き出す良い機会だと捉えている。

## 30 NPO 法人 コリドール カフェ・コリドール（宮崎市）

就労継続支援 A 型



★訪問メモ  
仕事だけでなく、自分の楽しみとなるような趣味やスポーツ、芸術文化を見つけてほしいという思いで、職員が利用者に声をかけている。店内にアクセサリーや手作り作品の販売所を設けたり、絵の得意な人の作品を展示し、それら作品を通して、お客さんとのコミュニケーションも生まれているように。

## 31 社会福祉法人 ぐりん・わーくす（宮崎市）

就労継続支援 B 型 ふれあい喫茶あいあい



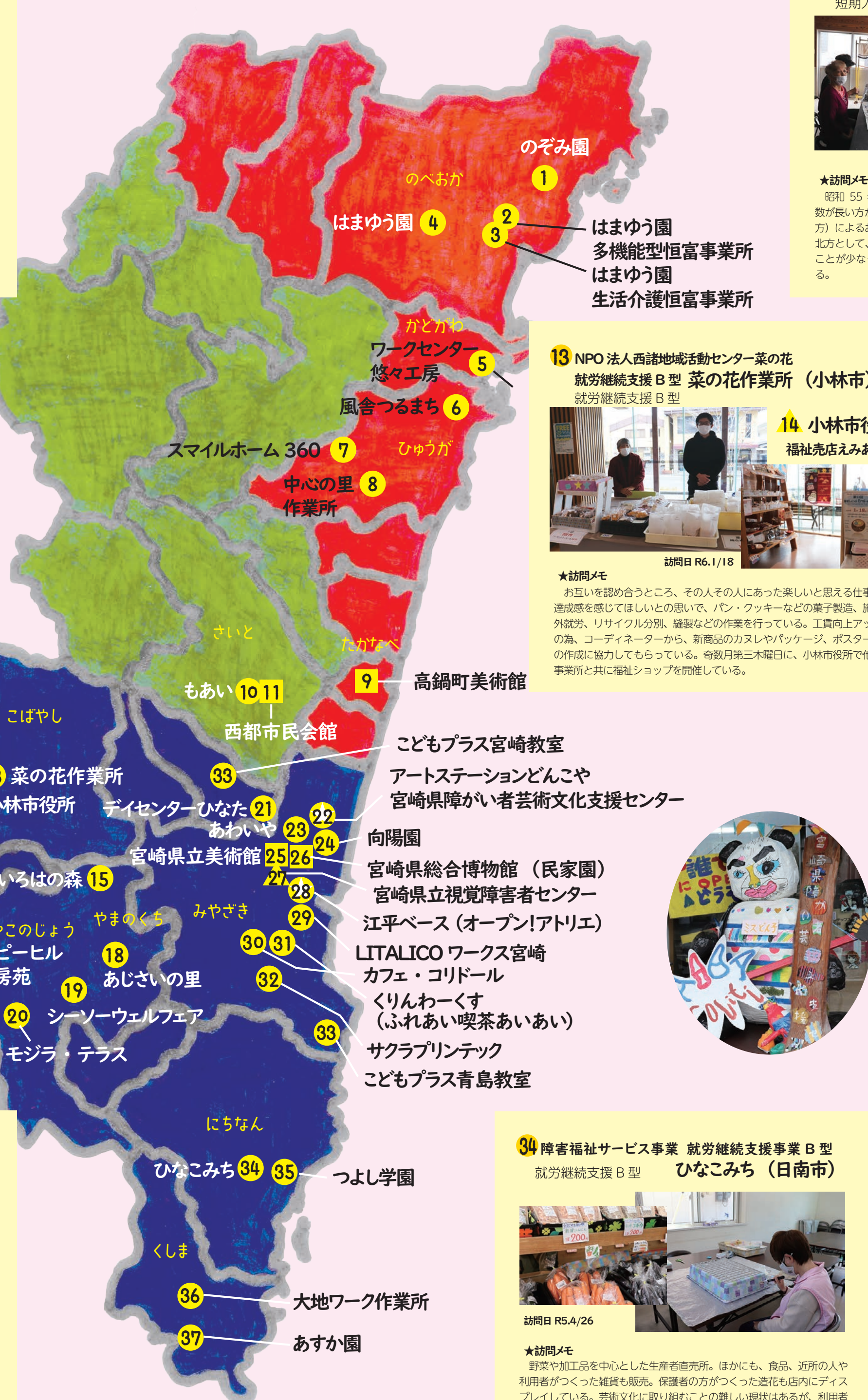
★訪問メモ  
現在の活動や作業で余裕がない現状はあるが、芸術文化活動に熱心はある。店内に、絵画を展示（支援センターが展示先を仲介）したり、商品（フッキー、せっけん、アクリルたわし、おじやみなど）を委託販売するコーナーを作っている。知っている人の作品が飾ってあると「○○さんの絵だ！」と働く利用者が喜んで、作品を「雰囲気がいい」と、お客さんからも喜ばれ、内外共に好評である。

## 32 社会福祉法人 桜谷サクラプリンテック（宮崎市）

就労移行支援・就労定着支援 就労継続支援 B 型



★訪問メモ  
利用者数100名以上の多機能型就労支援事業所。当支援センターが行ったアンケートに、「B型事業所のレクリエーションとして展示会などの見学・鑑賞を取り入れたい。情報提供をお願いしたい」と回答があった。利用者の中に、個人で絵画創作活動や宮崎県障がい者スポーツ大会に挑戦する方もおられた。



## 4 社会福祉法人 高和会 障害者支援施設はまゆう園（延岡市）

就労継続支援 B 型、生活介護、施設入所、短期入所、日中一時支援



★訪問メモ  
昭和55年より精神障がい者のための入所施設からはじまり、在籍年数が長い方が多い。月1回教職員の時間外外部講師（地域のボランティアの方）によるお茶、習字、硬筆、生け花などの活動を行っている。千支の町北方として、千支の庵で物作りをしているが、高齢化問題があり、できることが少なくなった利用者も増えてきているが工夫して取り組んでいる。

## 5 社会福祉法人 有隣会 ワークセンター悠々工房（門川町）

就労移行・就労継続支援 B 型・就労定着支援



★訪問メモ  
食品加工科、OA科、工作・リサイクル科があり、魚を仕入れてすり身にした天ぷらづくりに力を入れている。保育園や高齢者施設、学校に給食で納品し食育につながっている。芸術文化活動に取り組むことはできないが、施設内にいる人たちが、演劇や民謡などの文化のチラシ、生活に関わるチラシ等掲載している。絵を描くのが好きな人には、「○○に応募してみたから○○に紹介されるかもよ！」など鼓舞して、その人の得意とするところを応援している。

## 15 特定非営利活動法人 いろはの森（高城町）

生活介護、日中一時支援



★訪問メモ  
スタッフの1人がアート活動のすすめ@宮崎（都城市）セミナーに参加。書道、黒板アート、絵の具などアート活動に取り組むたい。と、今回の訪問につながった。余暇活動では外出や散歩、文化的活動では、外部講師による音楽レクリエーションを月1行っている。

## 18 社会福祉法人 あじさいの里（山之口町）

就労移行支援事業・就労継続支援 B 型事業・就労定着支援事業



★訪問メモ  
ゴミ袋製作や園芸作業、高齢者を訪問して家事や話し相手をする仕事をしている。その他、利用者の絵、ネットで作った版権付きのイラストを使った缶バッチ制作を行っている。週の中水曜日の午後は、レクリエーション（余暇活動）とし、意欲的な事業所選所のためのさっけづくりを行う。カラケや入浴、スポーツ、ゲーム、外部（地域）の人を呼んで盆踊りの練習など、利用者の活動参加の楽しさにつながっている。

## 24 社会福祉法人 宮崎県社会福祉事業団 障害福祉サービス事業所 向陽園（宮崎市）

就労移行支援、就労継続支援 B 型、生活介護、共同生活援助



★訪問メモ  
作業中心ではあるが、生活介護の人たちが表現したものや、職員が考えた課題に利用者が絵を描いたポスターを食堂の壁に貼っている。また、40年以上にわたる木工技術にたずさわってきた木工芸士としての技能を、向陽園祭や福祉バザー、フロンター、東大宮地区のお祭りなどで販売したり、木工活動として、こどもを対象としたワークショップなどをアートセンターで行っている。

## 29 LITALICO ワークス宮崎（宮崎市）

就労移行支援事業



★訪問メモ  
精神障がい、発達障がいの人が多く利用され、2年間のプログラムで、18歳から60歳まで利用でき、30代が多い。就労に向けての訓練が主であるが、物作りや表現活動の中でコミュニケーションが活発になることもあり、芸術文化活動が有効な手立ての1つであると考えている。

## 34 障害福祉サービス事業 就労継続支援事業 B 型 ひなこみち（日南市）

就労継続支援 B 型



★訪問メモ  
軽業や加工品を中心とした生産者売所。ほかに、食品、近所の人や利用者がつくった雑貨も販売。保護者の方がつくった雑貨も店内にディスプレイしている。芸術文化に携わることの難しい現状はあるが、利用者に決まった仕事や作業場だけでなく、他のことも経験してもらいたいという思いで、利用者の描いたポップや、オリジナルのカップをつくり、みんなでお店作りをしている。

## 36 社会福祉法人 龍口会 就労継続支援 B 型 大地ワーク作業所（串間市）

就労継続支援 B 型



★訪問メモ  
手やシャイタク、ハウス野菜などの販売、田んぼの管理や生米料理を揃える所など、乾燥シイタク作り、手のひげとりを行っている。取れた野菜は道の駅に売っている。コロナ禍前は、興味のある利用者2、3名を串間市主催の福祉教室に連れて行っていた。お昼ご飯の後に音楽を聞いたり、スタッフと特長したり、障がい者スポーツ大会に出る方もいる。

## 37 社会福祉法人 龍口会 障害者支援施設 あすか園（串間市）

生活介護 施設入所



★訪問メモ  
余暇の支援、リハビリ活動を兼ね、外部企業の手を借りて銀行のポスターのデザインになる絵画創作を行っている。これまでに2人の作品がデザインに採用されたことでモチベーションアップ、喜びにつながっている。創作活動に興味の持っている利用者7人に声をかけて、絵画の活動を木曜日の午後1時間程度行っている。芸文祭の時に初めて絵画美術館へ障がい者アート展を見に行ったことも利用者の喜びにつながったそう。

# そうだん！2023

主に障がいのある当事者、障がい福祉サービス事業所から、電話やメール、事業所訪問や作品展・セミナー・ワークショップ会場現場を通して多くの相談を受けています。美術に関する相談が大変多く、創作環境や支援方法などの相談、発表に関すること、交流・ネットワークづくりについて、など多様な相談内容です。

相談支援は、宮崎県の障がい者芸術文化活動の現状を把握し、課題解決へ向かう重要な業務となっています。

相談者属性

|                |     |
|----------------|-----|
| 障がい当事者         | 20件 |
| 家族             | 3件  |
| 福祉関係者          | 12件 |
| 文化施設           | 5件  |
| 芸術家・文化関係者      | 5件  |
| 市民団体           | 1件  |
| 教育関係者          | 0件  |
| 医療機関           | 0件  |
| 自治体            | 8件  |
| その他（企業・報道機関など） | 12件 |
| 相談分野           |     |
| 美術             | 52件 |
| 音楽             | 1件  |
| 演劇             | 0件  |
| 舞踊             | 0件  |
| その他            | 10件 |
| 分野でないもの        | 3件  |

相談件数

(R5.4月～R6.3月)

66件

(のべ216回)

相談種別

|         |     |
|---------|-----|
| 鑑賞      | 13回 |
| 創造      | 32回 |
| 発表      | 71回 |
| 交流・連携   | 30回 |
| 調査研究・保存 | 5回  |
| 権利保護    | 14回 |
| 人材育成    | 0回  |
| 情報発信    | 27回 |
| その他     | 24回 |

相談ケース：創作支援・人材育成 → アーティスト派遣ワークショップ

知的、精神的、身体障がい、医療的ケアが必要な方が利用されており、「制作」活動を月1回取り入れている。芸術活動に興味を持つきっかけを作りたいという相談を当支援センターが受ける。アーティストの松下氏を派遣し、アートに対する難しいという思い込みを開放するようなワークショップを行った。アート表現の幅広さを知っていただき、透明アクリル板とカラフルなペンやマーカーなどで表現を楽しんだ。さらに、展示方法や工夫（裏面に添え木と引掛けをつくるなど）、意に合ったディスプレイなど楽しみながら学べる場が広がりました。



参加者：24人  
障がいのある人 16人  
支援員 8人  
アーティスト：松下 太紀氏（地場作家）



◎その後、自分たちで制作の続きに取り組み、\* ころろのふれあうフェスタ作品展 2023 の出展へつながった。

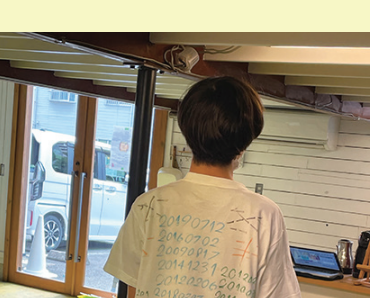
# オープン！アトリエ 毎月第3土曜日 10:00～16:00 @江平ベース（宮崎市）

自由に創作、自分の表現、聞いてみよう！だれでも、来ていいよ！話してみよう！オープン！アトリエ

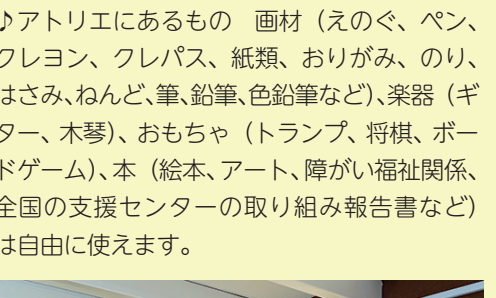


ここは、障がいのあるなしに関わらず、誰でも、アトリエに来て、創作活動したり、自分の表現について話して誰かと共有（相談）できる場所です。そのほか、全国のアート表現に関する公募展や支援センター情報、発表機会の情報も発信しています。

誰でも障がい者アートを通して交流できる場からスタートし、外出の機会、創作活動きっかけの場、ワークショップやセミナーの場へと展開しています。



♪Tシャツワークショップの開催やオンラインセミナーへの参加、相談場所として活用しました。



♪アトリエにあるもの 画材（えのぐ、ペン、クレヨン、クレパス、紙類、おりがみ、のり、はさみ、ねんど、筆、鉛筆、色鉛筆など）、楽器（ギター、木琴）、おもちゃ（トランプ、将棋、ボードゲーム）、本（絵本、アート、障がい福祉関係、全国の支援センターの取り組み報告書など）は自由に使えます。



♪普段は就労継続支援 A 型や B 型を利用されている方、どこにも所属していない方、外出のきっかけが欲しい方、自分の表現を見せたい方、見学やお話ししたい方が利用されています。

利用人数

(R5.4月～R6.2月)

9回実施

のべ40人

創作支援交流相談